

# JR東労組盛岡

No. 24  
2018年11月4日  
東日本旅客鉄道  
労働組合  
盛岡地方本部

〒020-0045  
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号  
発行人 佐々木克之  
編集人 情宣部  
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157  
JR 033-2238-2239 FAX 033-2230

## 年末手当要求額3.4ヶ月+5万円 満額回答を勝ち取ろう！！

# 申9号 年末手当第1回交渉開催！

本部は11月1日、年末手当第1回交渉を行い、趣旨説明を行いました！

## 組合の趣旨説明

- ・上半期単体の営業収益は対前年比100.7%、運輸収入は100.6%で、7期連続の増収で、第2四半期決算としては過去最高を記録している。増収減益とはいえ、営業収益は1兆円を超え安定的な経営で推移している。
- ・台風24号に対しては、首都圏で初となる全面運休を行い、これは一定の評価を得た一方で、運転再開に関しては課題を多く残している。多くの組合員は情報が少ない中、不眠不休で奮闘した。
- ・基準内賃金の3.4ヶ月+5万円は、組合員の声と職場の現実、社会情勢などを総合的に考えた結果、理性的な要求である。
- ・今年の賃金引上げで、入社6年目以降の組合員から不満の声も出されている。採用数が予定数に届かない状況を回避するためにも満額回答を要求する。

## 会社の趣旨説明

- ・職場における増収に向けた取り組みに感謝している。
- ・燃料費の高騰や部外委託費が増となっている。エルダ一雇用について見直したことや、減価償却費の増加などが原因である。
- ・月例経済報告では、緩やかな回復基調とはしているが、依然として経済の不透明性はあり、通商問題や株価の不確定性は残っている。働き方改革が進み鉄道の移動ニーズも減少する可能性がある。
- ・社内の世代交代によって、人件費も増加に転じる局面にさしかかっている。
- ・手当の支給は大局的な視点で考える。JRは高い公共性がある。月数や額面で見ても十分高い水準であり、突出感の無いようにしたい。

第2回交渉は11月8日(木)

開催予定です。



情報誌・盛岡運輸区分会

職場からも檄布などの取り組みが行われています！本部交渉に注目し、全組合員で本部を支える取り組みを創り出そう！！